ライフジャケットをご使用中・購入ご検討中の皆さまへ

ライフジャケットは 型式承認取得品を使いましょう！

ライフジャケットには、人の命を守るための要件が必要です。そのため、国土交通省では、ライフジャケットの技術基準を定めています。また、近年ライフジャケットの着用率向上が阻害されてきた理由として､｢動きにくい｣｢かっこわるい｣などの、着心地やイメージの悪さが挙げられていました。そこで、それらのことが改善されたライフジャケットの開発・普及を促進するための基準を設けて、さらなる着用率の向上を図っています。

小型船舶関連事業協議会

安全で楽しい航海は信頼できるメーカーの製品を選ぶ事からはじまります。

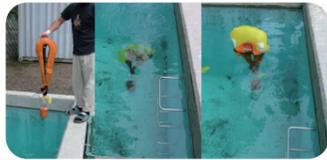
私たちは、皆さまに安全で快適なマリーンレジャーを楽しんでいただくことを願っています。

私たちの協議会は、国の法令（型式承認）で定められた５品目のカテゴリーの小型船舶用関連船用品を製造している企業が集い結成しています。

私たちの目的は、法令で定められた基準を遵守して、皆さまに安心してご利用いただける高品質の船用品を製造し続けると共に、日本の海洋環境や海外の事情も研究しながら、安全性の確保はもとよりファッション性にも優れた使いやすい船用品を開発していくことです。

～　型式承認試験の一例　～

小型船舶用救命胴衣（膨脹式）の一例

浮力試験

ライフジャケットで一番大事な浮く力。浮力がきちんと確保されているかを確認します。
大人用は 7.5kg、小児用は体重別に 40 kg～15kg は 5 kg、15 kg未満は 4 kgの鉄片を吊り下げて淡水に浮かべ、24 時間以上浮き続けられることを確認します。

強度試験

ライフジャケットには、救助時の引き上げなどに耐えうる強度が必要です。縦と横の 2 方向それぞれに、大人用は荷重 880 N（約 90kg）、小児用は 580 N（約 60kg）を 30 分間加え、損傷しないことを確認します。

着用試験

ライフジャケットの着用性を、体格の違う 3 人で試験します。1 分以内に容易に着用でき、前屈などの動作に支障がないことを確認します。

水上性能試験

高さ 1m から水中へ飛び込んで浮遊姿勢を試験します。体格の違う 3 人で行い、ライフジャケットの脱落が無く、呼吸が確保できるように後傾姿勢で浮遊することを確認します。

温度繰り返し試験

外気温度の変化がライフジャケットに及ぼす影響を試験します。温度＋65℃→常温→－30℃→常温を 8 時間づつ 10 回繰り返し、亀裂や損傷、浮力の減少がないか確認します。

色度試験・外観及び標示検査

海上で発見されやすいように、ライフジャケットには表面に使用できる色が決まっていて、ホイッスルと反射材が装備されています。表面上部の 1/2 の 75% 以上が適合の色か、基準に適合しているホイッスルと反射材が取り付けられているか確認します。また型式番号や製造年月、メーカー名などの標示内容も適合か検査します。

耐油試験

オイルがライフジャケットに付着した場合の影響を試験します。軽油に 24 時間漬けて、亀裂や損傷、浮力の減少がないか確認します。

膨脹･耐圧･材料及び部品試験

膨脹式や金属部品が使用されているライフジャケットの場合、上記の追加試験を行い、亀裂や損傷、浮力の減少がないか確認します。

救命具のお問い合わせは下記の会員会社へ

第 1･2 部会	高階救命器具株式会社	〒556-0028	大阪市浪速区久保吉 1-1-30	TEL：06-6568-3512
	東洋物産株式会社	〒166-0012	東京都杉並区和田 3-53-14	TEL：03-3312-1471
	日本救命器具株式会社	〒135-0062	東京都江東区東雲 1-2-1	TEL：03-6221-3393
	日本船具株式会社	〒108-0071	東京都港区白金台 1-5-5	TEL：03-3447-7272
	藤倉航装株式会社	〒142-0063	東京都品川区荏原 2-4-46	TEL：03-3785-2111
	アキレス株式会社	〒160-8885	東京都新宿区大京町 22-5	TEL：03-3225-2186
	RFD ジャパン株式会社	〒231-0801	横浜市中区新山下 3-7-24	TEL：045-629-0055

小型船舶関連事業協議会 http://www.jc-kyougikai.org/
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4 丁目 1 番 3 号 5 階 TEL / FAX：03-3239-0091

～私たちは、こんなかたちで皆様のお役に立っています～

第1･2部会 ライフジャケット　救命具

「高階救命器具株式会社」「東洋物産株式会社」「日本救命器具株式会社」「日本船具株式会社」「藤倉航装株式会社」「アキレス株式会社」「RFD ジャパン株式会社」

助かるために着て、助けるために投げる！

小型船舶で使われている安全備品の中で、最もポピュラーで馴染みの深いのがライフジャケットでしょう。

このライフジャケットを着けて水に入った人が、フェイスアップした姿勢で浮くことができるように 7.5kg 以上の浮力を有し、最低でも 24 時間以上維持できるように作られています。また救命浮環は、これにつかまらせて落水者を救助する用具ですから、投げやすくつかまりやすく、救命胴衣と同じ 7.5kg 以上の浮力を有しています。

私たちは、いずれもこの安全性と機能性、そして荒天の海上でも発見されやすいといった総合性能にこだわり続けています。

第 3 部会 火工品

「興亜化工株式会社」「国際化工株式会社」

言葉を選ばずに SOS ！

小型船舶用信号紅炎は、平水や限定沿海といった比較的陸に近い海域を航行する小型船舶が、周囲の視認できる距離にいる他の船舶や陸上に対して遭難信号を送る手段として利用されます。

近距離といっても、海上の距離は陸上のそれに比べて、見える以上に遠いため、陸上で使うもの以上の十分な明るさが必要です。そのため、陸上の発炎筒の光度が 160 カンデラに対し、信号紅炎は 400 カンデラと 2．5 倍以上明るく、視認距離も 1．5 倍となっています。

私たちは、こうした性能と品質管理に十分な配慮を怠りません。

第 4 部会 消防設備

「株式会社初田製作所」「宮田工業株式会社」「ヤマトプロテック株式会社」

消えにくい火にこそ必要です！

多くの場合、水をかければ火は消えます。しかし小型船舶の中という限られた空間で発生した火災は、水だけで冷静な消火活動を行うことが困難です。

しかも燃料、樹脂、オイル類の火災には水での完全消火は不可能で、化学消火器が必要です。

私たちは、小型船舶用に、消火効率の高い化学粉末消火剤を使用した消火器のほか、密閉したスペース内で自動的に消火を行う自動拡散型消火器などの開発と製造を行い、小型船舶の安全性の向上に努めています。

第 5 部会 航海灯

「株式会社小糸製作所」「コイト電工株式会社」「三信船舶電具株式会社」「日本船燈株式会社」

見える、見えるが安全の基本です！

夜間の船灯は自船の航行状況を他船に知らせ、衝突事故を防止するもので、国際条約できめられた色・水平射光角度・光達距離など基準に合った製品でなければなりません。しかも夜間航行の船舶の船灯は、お互いに交通信号の役割もはたします。つまり相手の船の船灯で緑が見えればこちらの優先、紅が見えれば相手が優先、両方が見えればお互いに航路を譲り合わなければなりません。

海上交通安全のために私たちは、努力を怠りません。

第 6 部会 機関

「スズキ株式会社」「トーハツ株式会社」「本田技研工業株式会社」「ヤマハ発動機株式会社」

小型船を高速艇に変身させました！

船外機は軽くて丈夫でパワフルなエンジンです。この三拍子揃ったバランスのよさが、3 ～ 4m の小型のボートさえも見事な高速艇に変身させました。

そしてまた、モーターボートという魅力的な乗り物を、手頃な価格で入手できる商品に完成させました。

いまや世界の小型船舶は私たちの存在なくして語れない時代です。

私たちは、海上で安心して使用できる高い信頼性を持ち、さらに海洋環境にもやさしい、クリーンで高品質な船外機を提供してまいります。

賛助会員

「㈱大沢商会グループ」「㈱救命」「三洋商事㈱」「静船㈱」「島田燈器工業㈱」「スリーエムヘルスケア㈱」「全国漁業協同組合連合会」「㈱高澤製作所」「綱田工業㈱」「ニチモウ㈱」「㈱ニッコー」「日星工業㈱」「(社) 日本船舶品質管理協会」「舶用電球㈱」「㈱ワイズギア」「ユニチカスパークライト㈱」

膨張式ライフジャケットご使用の皆様にお願い！

膨張式ライフジャケットの安全使用について

落水した場合、自動膨張式であっても速やかに、作動索を引き、手動膨張させてください。

自動膨張機能は補助機能です。着用時には必ず作動索が隠れないように確認してください。

自動膨張の仕組み（例）

＊メーカーにより機構の配置が異なることがあります。

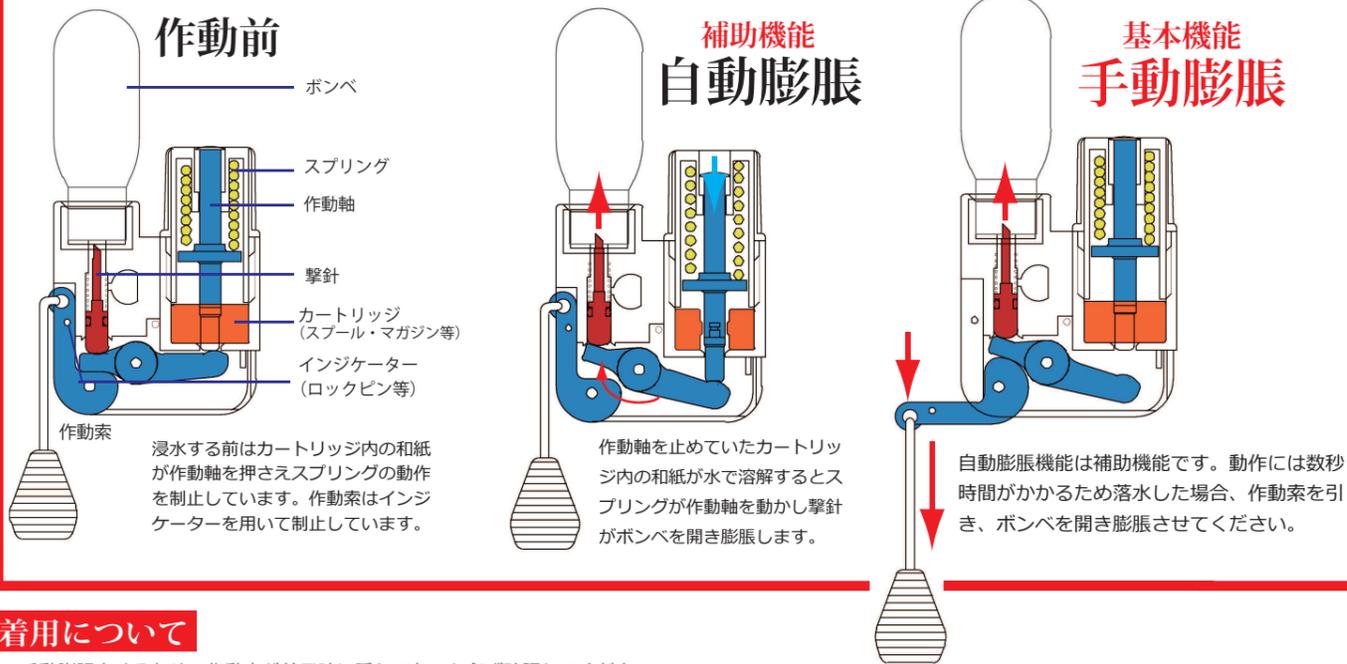
自動膨張式ライフジャケットの充てん装置（カット装置）には、作動索を引き膨張する手動の機能と、カートリッジ（スプール・マガジン等）が水分を感知して膨張させる自動の機能が装置の中に二つ組み込まれています。落水時の姿勢や着衣などにより、装置の浸水時間にバラツキがでますので、自動膨張は補助的な機能とされています。安全を素早く確保するために落水時には、作動索を引き膨張させてください。着用時には作動索が手ですぐに掴むことができることを必ず確認してください。万が一、膨張しない場合や膨らみが足りない時には補助送気管から直接息を吹き込んで、浮力を確保することができます。

手動で膨張！

浸水する前はカートリッジ内の和紙が作動軸を押さえスプリングの動作を制止しています。作動索はインジケーターを用いて制止しています。

作動軸を止めていたカートリッジ内の和紙が水で溶解するとスプリングが作動軸を動かし撃針がボンベを開き膨張します。

基本機能
手動膨張

自動膨張機能は補助機能です。動作には数秒時間がかかるため落水した場合、作動索を引き、ボンベを開き膨張させてください。

着用について

1. 手動膨張させるための作動索が着用時に隠れてないか必ず確認してください。
2. ベルトの締め付けがゆるい場合、落水時にジャケットが体から抜け外れる恐れがあります。着用時はバックルのベルトを調節して体にフィットさせてください。
3. 膨張式ライフジャケットを着用する際は、必ず一番上に着用してください。合羽などの下（内側）に着用しますと、作動索が引けず、自動でも膨張しないことが考えられ、大変危険です。
4. 漁具、突起物、刃物、鋭利なもの、釣り針等で外装布・気室を傷めないようにご注意ください。
5. 作業中、頻繁に膨張してしまうなどの場合は、固型式ライフジャケットなどの使用をご検討下さい。
6. 自動膨張機能は補助機能です。自動膨張機能が付いていても万一の落水時は手動で膨張させることが基本です。
   手動で膨張させることが出来ない方や点検等が実施できない方はお客様の安全のため固型式ライフジャケットなどの使用をご検討下さい。
7. ライフジャケットは安心で安全な国土交通省型式承認品をお選びください。詳しくはご使用のメーカー・当協会までお問い合わせください。

作動索は隠れてないか必ず確認!

点検・保管について

1. 購入後は付属の取扱説明書を必ずよくお読み、必ず保管してください。
2. 購入後はガスボンベ、カートリッジ（スプール・マガジン等）が正しく装着されていること、かつ使用済みでないこと、補助送気装置（補助充気装置）、充てん装置（カット装置）が壊れていないことなどの点検を行ってください。
3. お客様の安全のため、ご購入後 1 年に 1 度程度の点検と、メーカー指定期日 (3 年以内）までに消耗品交換を必ず行ってください。詳しくはご使用のメーカー・販売店までお問い合わせください。
4. 大量に雨や水しぶきがかかったり、湿気等を帯びて陸上で自動膨張することがあります。車のトランクや道具入れ等、湿気を帯びた用具と共に放置したりすることは避け、保管時はよく乾燥させ、湿気の少ない通気性のある場所で保管してください。

膨張式ライフジャケットご使用の皆様にお願い！

年に１度の安全チェックをしましょう！

あなたの膨張式ライフジャケットこのようになっていませんか？機能が損なわれ大変危険です！

逆止弁破損

笛変形

ベルト切れ

外装布擦れ穴空き

縫い糸ほつれ

気室破損

外装布変色

気室穴あき

バックル・ベルト破損

ボンベ使用済み・サビ

スプール・カートリッジ使用済み・期限切れ

膨張式ライフジャケット　点検チェックリスト（例）

気室生地（浮力部）重要チェック！

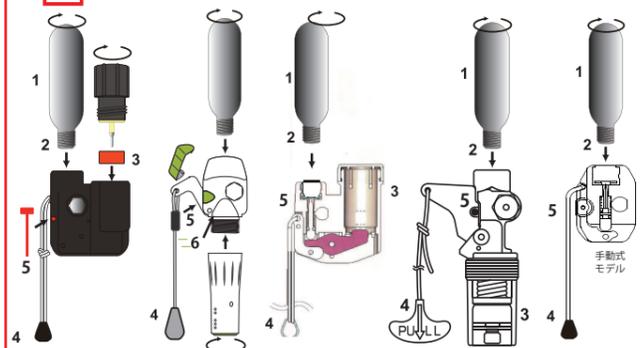
①生地溶着部に剥がれ・損傷・劣化がないか確認。
②印刷が剥がれてなくて読み取れるか確認。
③補助送気管（赤いチューブ）から口で膨らませ、空気が漏れていないか確認。

炭酸ガスボンベ　重要チェック！

①ボンベの封版に穴や傷がないか確認。
②ボンベの取り付けが緩くなっていないか確認。
（奥まで軽く回し締めた後、さらに 90°ほどきつめに締める）
③サビやカビの発生がないか確認。
④ボンベに傷や凹みがないか確認。

充てん装置 (カット装置)　重要チェック！

手動式モデル

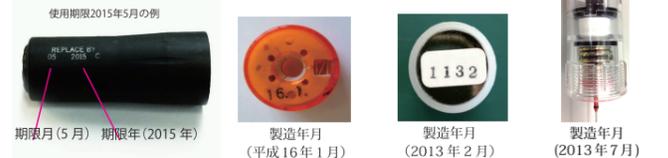
1 炭酸ガスボンベ
2 封板
3 カートリッジ
4 手動用作動索
5 ロックピン
6 インジケーター（ダブルインジケーターモデルのみ）

①損傷・劣化がないか確認。
②手動用作動索（引っ張る紐）が外に出ているか確認。
③ロックピンがついているか確認
④充気装置がダブルインジケーター（取付確認表示）モデルは、インジケーターの表示の色が 2 つとも緑になっているか確認。
⑤取り付けられているカートリッジ（スプール・マガジン等）が未使用のものか、使用期限内のものか確認。
⑥ガスボンベが未使用のものか確認。

カートリッジ（スプール・マガジン等）　重要チェック！

製造から 3 年以上経過したものは交換をしてください。それ以内のものも早めの交換をお勧めします。

期限月（5 月）　期限年（2015 年）

製造年月
（平成 16 年 1 月）

製造年月
（2013 年 2 月）

製造年月
（2013 年 7 月）

カートリッジ、（スプール・マガジン等）、水分を感知するパーツには使用期限がありますのでご確認下さい。使用期限が表記されているタイプ（上）、製造年月が表記されているタイプ（下）など、メーカーや機種によって違いがありますので、ご注意ください。使用期限設定には若干違いがありますが、概ね製造から 3 年以内で交換してください。
また、気室からのエア漏れやボンベの緩み・外れなど、経年劣化による破損箇所の発見には自主点検が有効です。ご使用前や使用開始から 1 年に 1 回程度の自主点検実施をしてください。ご自分での点検にご不安な場合はメーカー点検（有償）をご依頼ください。

カバー
生地・縫製部に損傷、劣化等がないか確認。

ベルト
縫製部に損傷、劣化等がないか確認。

手動用作動索
割れ、切れ、絡まりがないか、直ぐに引けるように出ているか確認。

プラスチック部品
損傷、劣化等、バックルが緩くなっていないか確認。

通常時 (膨張前)

ホイッスル
音が出て、ヒモで繋がっているか劣化・損傷・ひび割れがないか確認。

炭酸ガスボンベ

充てん装置 (カット装置)

膨張時

気室生地（浮力部）

再帰反射材
剥がれ・劣化がないか確認。

（補助充気管）
補助送気管
劣化・損傷・ひび割れ溶着部に剥がれ・損傷・劣化
キャップが取り付けられているか
口で吹いてみて、空気が正常に送れるか確認。

＊メーカーにより機構の配置が異なることがあります。

小型船舶関連事業協議会
http://www.jc-kyougikai.org/
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4 丁目 1 番 3 号 5 階
TEL / FAX：03-3239-0091

第 1･2 部会 (型式承認品救命具製造メーカー)
高階救命器具株式会社・東洋物産株式会社・日本救命器具株式会社・日本船具株式会社・藤倉航装株式会社・アキレス株式会社・RFD ジャパン株式会社